



光とハーブの白き魔女ルミナによる個人鑑定

鑑定書

復縁・お相手の気持ち 詳細鑑定

ご相談者	由佳さま ██████████ (A型)
お相手さま	拓海さま ██████████ (O型)
鑑定方法	宿曜(亢宿×氏宿)・数秘術(運命数1×9)・ルノルマン グランタブロー(9×4)
ご相談内容	元彼の現在の気持ち・復縁の可能性・連絡しても大丈夫か

鑑定内容

第一章	由佳さまの基本性格(亢宿・運命数1)	P.2-3
第二章	拓海さまの基本性格(氏宿・運命数9)	P.4-5
第三章	お二人の相性 亢宿×氏宿 栄・親の関係 / 運命数1×9	P.6
第四章	グランタブロー 配置・全体概観	P.7
第五章	復縁鑑定 淑女・ハート周辺の読み	P.8-9
第六章	復縁鑑定 拓海さまの周辺・今の気持ち	P.10-11
第七章	連絡・復縁の可能性と今後の流れ	P.12-13
第八章	ルミナからのアドバイス・アフターセッション	P.14-

ハクが白い羽根をそっと広げ、この鑑定書をあなたへ届けます。
ルミナとハクが、由佳さまと拓海さまの物語を丁寧に読み解きました。
どうか、ゆっくりと受け取ってください。

第一章 由佳さまの基本性格

由佳さま XXXXXXXXXX は亢宿・運命数1の魂です。
この組み合わせは「高い理想を掲げて自分の道を切り拓く、情熱の先駆者」——
真っ直ぐな意志と豊かな感情を合わせ持つ、美しい強さのある方です。

宿曜・亢宿とはどんな星？

亢宿は二十七宿の中でも「理想・情熱・高い志・誇り」を司る星です。

「亢」という字は「高く掲げる」を意味し、妥協せず、自分の信じた道を進む魂です。感情が豊かで、好きなものへの情熱は人一倍強い。

ひとことで表すなら——「理想が高く、一度愛したら深く、全力で向き合う人」。

仕事でも恋愛でも、中途半端が苦手。気持ちが溢れるほどに「うまく伝わらない」経験をしてきた方も多い星です。由佳さまがお仕事で追い詰められたとき、その余裕のなさが言葉に出てしまったのは、亢宿の「感情の強度」ゆえかもしれません。

亢宿の光と課題

強い意志・情熱・誠実さが際立ちます。一度決めたことを貫く力があり、何事にも手を抜かない。その真摯さが人から信頼される源泉です。

感情が豊かで、場の空気を一瞬で変えるほどの熱量を持っています。

課題は「感情が溢れたとき、自分を責めすぎる」こと。別れの原因になった言い方のきつさを、今も引きずっていませんか？ 亢宿の方は、自分への要求が高いがゆえに、後悔を深く抱えてしまうことがあります。

第一章 由佳さまの基本性格（続き）

ここからは由佳さまの運命数1についてお伝えします。亢宿と運命数1が重なることで、由佳さまの魂の方向性がより鮮明に見えてきます。

数秘術・運命数1「先駆者の魂」

運命数1は「始まり・自立・先駆者」を象徴する数です。

1を持つ方は、自分の力で道を切り拓くことを本質的に求める魂。リーダーシップがあり、依存より自立を選ぶ傾向があります。

亢宿の「情熱・高い志」と運命数1の「自立・先駆者」が重なることで、「仕事も恋愛も全力でやり切りたい、でも両立が難しくなると自分を追い詰める」という特性が生まれます。

亢宿×運命数1 由佳さまへのメッセージ

亢宿×運命数1の由佳さまは、
「情熱と意志を持って、自分だけの道を進む人」です。

仕事で追い詰められたとき、言葉がきつくなってしまったのは
「あなたが弱い」のではなく、全力で生きているがゆえの摩擦でした。

その情熱は、この恋においても本物です。

第二章 拓海さまの基本性格

拓海さま XXXXXXXXXX 氏宿・運命数9の魂です。

この組み合わせは「深い愛情と穏やかさを持つ、調和の人」——
感情を内側で静かに深める、水のような魂の方です。

宿曜・氏宿とはどんな星？

氏宿は二十七宿の中でも「安定・調和・包容力・穏やかな愛情」を司る星です。

「氏」は根・土台を意味し、激しく燃えるより、静かに深く愛する魂です。怒りや感情を外に出すことが少なく、内側で丁寧に処理するタイプ。

ひとことで表すなら——「穏やかに見えて、内側に深い感情の根を持つ人」。

「もう少し落ち着いた関係じゃないと続けられない」という別れの言葉は、氏宿らしい、穏やかだけど真剣な本音の表れでした。

氏宿の光と課題

包容力・忍耐・安定した愛情が際立ちます。感情的にならず、相手を包み込むような優しさがある。一度大切にした人を簡単に手放せないのも氏宿の特徴です。

SNSのストーリーをほぼ毎回確認している——それは氏宿が「切れない」証拠です。氏宿の方は、別れた後も静かに気かけ続けます。

課題は「感情を言葉にしない」こと。思っけても言わない、行動しない、だから相手に伝わらない——そのギャップが生まれやすいタイプです。

第二章 拓海さまの基本性格（続き）

ここからは拓海さまの運命数9についてお伝えします。

数秘術・運命数9「完成と慈愛の魂」

運命数9は「完成・慈愛・深い感受性・手放し」を象徴する数です。

9を持つ方は、0～9の全エネルギーを内包する「完成の数」の魂。人への思いやりが深く、感受性が豊かで、物事の本質を見抜く力があります。

一方で、「執着しない」「手放すことで次に進む」という9の特性から、別れを選んだことへの後悔より「自分なりの答えを出した」という感覚が強いかもしれません。

ただし——9は手放した後も、深いところで繋がりを切れない数でもあります。

氏宿×運命数9 拓海さまへのメッセージ

氏宿×運命数9の拓海さまは、
「静かに、でも深く、あなたのことを覚えている人」です。

SNSを見続けているのは偶然ではありません。
氏宿の「切れない根」と、9の「繋がりへの感受性」が、
彼をあなたのページに引き寄せています。

第三章 お二人の相性鑑定

命占（宿曜・数秘術）の観点から、由佳さまと拓海さまのお二人の相性を読み解きます。

亢宿×氐宿 栄・親の関係とは

由佳さま（亢宿）と拓海さま（氐宿）の間には、
宿曜占術において「栄・親」という特別な関係性があります。

栄は「互いを高め合い、発展させる縁」——
親は「自然に心が通じ合い、一緒にいると落ち着く縁」。

この二つが重なるお二人の関係は、出会うべくして出会い、共にいることで互いが輝くという宿曜の中でも
上位の吉縁です。

栄・親が示すお二人の関係性

自然に惹かれ合う力——意識して努力しなくても、自然と引き合うエネルギーがある。

高め合える相性——由佳さまの情熱・亢宿の火が、拓海さまの穏やかさ・氐宿の土に栄養を与え、逆に拓海さまの安定が由佳さまの激しさをやわらげる——補い合う関係です。

別れても続く縁——栄・親の縁は外的な事情で離れても、エネルギーが切れない。SNSで繋がりを続けていることは、この縁の証明です。

運命数1×9の相性

運命数1（由佳さま）と9（拓海さま）は、「始まりと完成」の組み合わせです。

1と9は数字の両端——でも足すと10、さらに1になり、完全な循環を作ります。

お二人は単なる「別れた二人」ではなく、魂レベルで循環する関係にあります。
「終わり」に見えても、それが「新しい始まり」への扉になりうるのが1と9の本質です。

第四章 グランタブロー 配置・全体概観



カード配置 (9×4)

行1	こども / 船 / ハート / 雲 / 淑女 / 道 / 花束 / 鍵 / ヘビ
行2	鳥 / 星 / コウノトリ / 騎士 / ムチ / 熊 / ガーデン / 魚 / 山
行3	鎌 / 家 / 錨 / 太陽 / 木 / 紳士 / 本 / 十字架 / 塔
行4	指輪 / クローバー / 手紙 / キツネ / ユリ / 犬 / 棺 / 月 / ネズミ

全体エネルギーの概観

この盤面には「まだ動いていないが、確実に動こうとしているエネルギー」が流れています。

淑女（由佳さま）は行1・列5の盤の中央に位置し、右に道、下にムチ、左に雲、左下に騎士を持ちます。中央という位置は「今まさに分岐点にいる」ことを示します。

紳士（拓海さま）は行3・列6。淑女の斜め右下にいます。上に熊、下に犬、右に本、左に木、右上にガーデン——紳士の周辺には安定した穏やかなエネルギーが満ちています。

ハートは行1・列3——淑女の左2つにあります。淑女とハートが同じ行に並んでいることは、由佳さまの心の中にこの恋が常にあることを示します。

第五章 復縁鑑定 淑女・ハート周辺の読み

淑女（由佳さま）は行1・列5に位置しています。ハートは行1・列3。周辺のカードを丁寧に読み解いていきます。

淑女の周辺カード詳細

右：道	道は選択・岐路・自分で決める力のカード。淑女の右＝未来側に道がある——「連絡するかどうか」という選択が、今まさにあなたの前に開かれています。どちらの道も否定されていません。
下：ムチ	ムチは葛藤・繰り返す思考・自分を叱咤するエネルギー。淑女の下＝基盤にムチがある——「どうすれば良かったのか」「あの言い方は間違いだった」という自己批判の繰り返しが、由佳さまの内側にある様子です。
左：雲	雲は不確かさ・霞んで見えないもの・迷いのカード。淑女の左＝過去・記憶に雲がある——別れ前後の記憶が「はっきりしない霧の中にある」感覚。何が正解だったのか、まだ整理しきれていないのが正直なところかもしれません。
左下：騎士	騎士は行動・スピード・動き出すエネルギー。過去の土台に騎士がいることは、「動こうとする気持ちはずっとある」ことを示します。連絡したいという衝動は本物です。
右下：熊	熊は力・保護・安定した存在感のカード。淑女の右下＝近い未来の基盤に熊がいる——動き出した先には、安定した力強いエネルギーが待っています。

第五章 復縁鑑定 ハートのカードが語ること

ハートは行1・列3に位置しています。淑女の左2つ——「過去の感情・深く持っている想い」のエリアです。

ハートの周辺カード

左：船	船は旅・移動・新しいスタート・遠くへ向かう力のカード。ハートの左＝感情の源に船がある——この恋への想いは、「新しい場所へ向かう船の出発点」にあります。止まっているのではなく、出航を待っている。
右：雲	雲は迷い・不確かさ。ハートの右＝感情の前に雲がある——想いは確かにあるのに、霧が晴れるまで踏み出せない状態を示しています。
下：コウノトリ	コウノトリは変化・新しいフェーズへの移行・再生のカード。ハートの下＝感情の基盤にコウノトリがいる——この恋は「終わった恋」ではなく、変化・再生の可能性を内包した感情です。
左下：星	星は希望・願い・遠くから照らす光のカード。ハートの根っこに星がある——この想いの底には、消えない希望の光が宿っています。
右下：騎士	騎士は行動のカード。ハートの右下にも騎士がいる——感情（ハート）が行動（騎士）と繋がっています。想いが行動に変わるエネルギーが確かに存在する。

第六章 復縁鑑定 拓海さまの周辺カードと今の気持ち

紳士（拓海さま）は行3・列6に位置しています。周辺のカードから拓海さまの現在の状態を読み解きます。

紳士の周辺カード詳細

上：熊	熊は力・保護・安定のカード。紳士の上＝意識・思考に熊がある——拓海さまは今、「安定・安心」を強く意識している状態です。落ち着いた関係を求めた別れの言葉と一致しています。
下：犬	犬は忠実・友情・変わらない信頼のカード。紳士の下＝基盤・無意識に犬がいる——拓海さまの根っこに「由佳さまへの変わらない信頼と親しみ」がある。3ヶ月越しにSNSを見続けているのはこれです。
左：木	木は成長・時間をかけて育つもの・生命力のカード。紳士の左＝過去・記憶に木がある——1年半という時間をかけて育てた関係性の記憶が、彼の中に生きている。
右：本	本は秘密・まだ語られていないこと・内側に持っているもののカード。紳士の右＝未来側に本がある——拓海さまにはまだ言葉にしていない気持ちがある。
右上：ガーデン	ガーデンは社交・外の世界・人との繋がりカード。紳士の思考の上方にガーデンがある——表面的には外の世界に意識を向けていますが、
左下：ユリ	ユリは純粋な愛情・誠実さ・穏やかな深い感情のカード。紳士の左下＝感情の土台にユリがいる——拓海さまが由佳さまに持っていた感情は、純粋で誠実なものだったことがここに映っています。
右下：棺	棺は終わり・封印・一旦閉じること。紳士の右下＝行動の先に棺がある——「今は動かない」という拓海さまなりの封印。でもこれは消滅ではなく「休止」です。

第六章 復縁鑑定 拓海さまの気持ち 総合読み

紳士周辺のカードを総合し、拓海さまの「今」の気持ちを整理します。

拓海さまの「今」

紳士周辺のカードが語ること——

上に熊（安定を求めている）

下に犬（変わらない信頼・親しみ）

左に木（育てた時間の記憶）

右に本（まだ言葉にしていない気持ち）

左下にユリ（純粋な愛情）

右下に棺（今は封印している）

これらが語ること——

「拓海さまは由佳さまのことが嫌いになったのではない。感情はある。でも棺（封印）がある——今は自分から動かないでいる」

SNSを見続けているのは、犬（変わらない親しみ）と木（育てた記憶）が根にあるからです。気にしていないのではなく、気にしながら封印している状態です。

淑女→紳士の斜めライン

淑女（1,5）から紳士（3,6）への斜めライン：

熊 → 本 → 月

熊（力・安定）→ 本（秘められた想い）→ 月（感情・直感）——

これは由佳さまが動いたとき、拓海さまの内側にある

「封印された感情（本）が、月（感情）として溢れ出る」流れを示しています。

由佳さまの一步が、彼の封印を溶かす鍵になります。

第七章 連絡・復縁の可能性と今後の流れ

グランタブローの全体と命占を踏まえ、「連絡しても大丈夫か」という問いに直接答えます。

「連絡しても大丈夫か」への答え

カードの答えは——「大丈夫です。むしろ今がそのタイミングです」。

淑女の右に道（選択）、ハートの下にコウノトリ（変化・再生）、行4に手紙（コミュニケーション・連絡）がある。

栄・親の縁を持つお二人に、「連絡すること」を止める理由はどこにもありません。

紳士の右下に棺（封印）がある一方で、下には犬（変わらない信頼）がある。

封印は「嫌いだから」ではなく「傷つきたくないから」です。

行4（近い未来）が示す流れ

行4：指輪 / クローバー / 手紙 / キツネ / ユリ / 犬 / 棺 / 月 / ネズミ

指輪（絆・継続）——まず「続いていく縁」のエネルギーが先頭にある。

クローバー（小さな幸運・タイミング）——良いタイミングが来る。

手紙（連絡・メッセージ）——連絡が近い未来に来る流れ。あなたからの連絡か、彼からの連絡かもしれません。

ユリ・犬——純粋な感情と変わらない信頼が続く。

棺・月——封印（棺）が月（感情・変容）によって溶け始める。

ネズミ——焦りや不安が最後尾にある——待ちすぎると不安に消耗してしまう可能性も。

行4は「連絡→純粋な気持ちで繋がる→封印が溶ける」という流れを示しています。

第七章 連絡・復縁の可能性（続き）

行4のネズミと、連絡の内容についての読みをお伝えします。

ネズミが示す「待ちすぎることへの注意」

行4の最後尾にネズミ（不安・消耗・じわじわ削られるもの）があります。

このネズミは「連絡しないしていると、不安が積み重なって消耗していく」という警告です。

迷っているうちに時間だけが過ぎていく——その状態が続くと、「やっぱり迷惑かも」という思考がどんどん強くなります。

ネズミを退治する方法は、動くことです。

どんな連絡が良いか

淑女の右に道（選択）、行4に手紙（連絡）、紳士の下に犬（友情・信頼）がある——

これらが示す最善の連絡の形は、「友人としての自然な一言」です。

「最近どうしてる？」「元気にしてる？」——そういう、圧のない軽い一言。

復縁を求める重い内容ではなく、犬（友情）の延長線上にある自然な連絡が、拓海さまの棺（封印）を最もやわらかく開けます。

亢宿の由佳さまは一度動くと全力になりやすいですが——最初の一步は「軽く」。それが亢宿×氏宿の最善の動き方です。

第八章 ルミナからのアドバイス

グランタブローと命占の全体を踏まえ、由佳さまへの具体的なアドバイスをお伝えします。

別れの原因と今の由佳さまへ

別れの原因——仕事で追い詰められてきつい言い方をしてしまったこと。

グランタブローの淑女の下にムチ（自己批判・葛藤）があります。

このムチは、今も由佳さまが「あの言い方は間違いだった」と自分を叩き続けていることを示しています。

でも——亢宿の魂は、全力だからこそ摩擦が生まれる。それは弱さではありません。

まず、自分を許すことが第一歩です。

ムチを手放したとき、淑女の右にある道（選択）がはっきりと見えてきます。

拓海さまへ連絡するタイミング

行4の指輪（絆）→クローバー（タイミング）→手紙（連絡）という流れは、
「良いタイミングで連絡が来る・または送る」という流れです。

クローバーは小さな幸運・偶然の一致を示すカード。

「彼がまたストーリーを見た」「共通の話題が生まれた」——そういう小さな偶然のきっかけが手紙（連絡）への橋渡しになります。

そのきっかけが来たとき、迷わず動いてください。

第八章 ルミナからのアドバイス（続き）

「復縁の可能性はあるか」という問いへの、カードからの最終的な答えをお伝えします。

復縁の可能性についての総合評価

盤面全体を通じて——

栄・親の縁（宿曜）、1と9の循環（数秘）、紳士の下に犬・ユリ（変わらない信頼と純粋な愛情）、行4の指輪・手紙・月（絆・連絡・感情の変容）——

これらすべてが同じ方向を指しています。

復縁の可能性は、確かにあります。

拓海さまが右下に棺（封印）を持ちながらも下に犬（信頼）を持っているのは、「今は自分から動かないが、扉を完全に閉めているわけではない」という状態です。

あなたからの一歩が、その扉を開けます。

由佳さまへの最後のメッセージ

淑女の右に道があります。

ハートの下にコウノトリ（再生・変化）があります。

盤の中心に太陽（光・真実・成功）があります。

この恋はまだ終わっていません。

太陽の光は、棺の向こう側にも差し込みます。

ムチ（自己批判）を手放して、道（選択）を歩いてください。

亢宿の情熱と、1の先駆者の力は、あなたの一番の味方です。

第八章 ハーブ・アフメーション

亢宿×運命数1の由佳さまに、ルミナがおすすめるハーブとアフメーションをお届けします。

由佳さまにおすすめのハーブ

ローズ 愛の扉を開き 自己愛を育てる	セントジョーンズワート 落ち込みを和らげ 光へ導く	カモミール 緊張・不安を やわらかくほぐす	ローズクォーツ (ティンクチャー) 愛を引き寄せる
--------------------------	---------------------------------	-----------------------------	---------------------------------

グラントブローからの最終メッセージ

太陽が盤の中心で輝き、
星がハートの根っこを照らし、
コウノトリが再生の時を告げている。

犬が彼の基盤に居続け、
ユリが彼の感情の土台に咲いている。

「連絡したら迷惑かも」は、雲（迷い）が見せている幻です。
道はあなたの右に開かれています。

アフメーション

「私は全力で愛した。それは誇りだ。
過去の言葉は、私の全部ではない。
私は今日、自分を許す。
そして、道を選ぶ勇気を持つ。
太陽は、私の一步の先で輝いている」

由佳さまへ。

亢宿×氏宿の栄・親——高め合い、自然に惹かれ合うお二人の縁は、
別れた後も静かに続いています。

彼がSNSを見続けているのは、偶然でも義務でもありません。
犬（変わらない信頼）とユリ（純粋な愛情）が、彼の根っこに居続けているからです。

「元気にしてる？」——その一言から、物語の新しいページが始まります。

ルミナとハクは、いつも由佳さまの側にいます。



白の魔女ルミナ & ハク
あなたの魂に、いつも白い羽根と光を

